



作：K-suke





ぼくの なまえは、つりわざでんしろ。つりがだい
すきな わけじゃないけど、つりにつかう どうぐをつ
くるのが とくいなんだ。ぼくには、げんきな おとう
との げんた と、おえかきが とくい ないもうとの しお
ん がいるよ。それから、ぼくたちの かぞくは、いぬ
の ぽち と、ねこの たま と、ねずみの ちゅんた もい
るんだ。みんなで、かごしまけんの きんこうちょう
という、うみべの まちに すんでるんだよ。



このうみには、ひとつだけ、とくべつな さかなが いるんだ。
からだ が ダイヤモンド みたいに キラキラ ひかる、ダ
イヤモンド フィッシュ！
この さかな を たべると、なんでも ねがい ごと が かな
う なんだって。



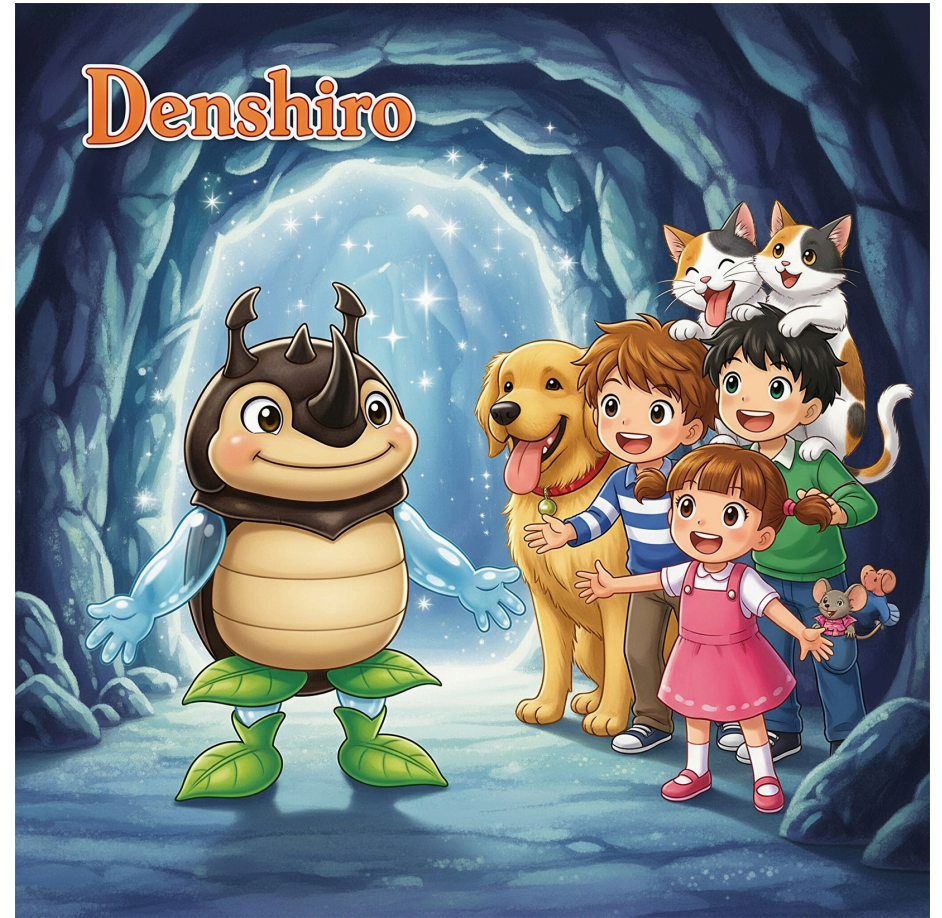
ぼくは、そのさかなをつりあげるための、とくべつなつりざおをつくりたかった。でも、ぼくひとりではむずかしい。そこで、ぼくのだいすきなかぞくが、てつだってくれたんだ！ げんたはつよいたけをさがしてきてくれて、しおんはきれいないとをよってくれた。ぽちはうおのむすびかたをおしえてくれて、たまははねをもってきて、ちゅんたはえさをつくってくれた。



みんなで、力をあわせて、とくべつなつりざおがかんせいしたよ！
さあ、いざうみへ！
みんなで、いっしょにダイヤモンドフィッシュをつりあげたんだ。
うみがキラキラひかって、とてもきれいだった。
つりあげたダイヤモンドフィッシュをみて、ぼくはおもった



「この さかなを たべたら、だれもしらない ひみつの
 どうくつがわかるんだって。」ぼくは、かぞく みんなに
 きいたよ。「みんなで、いっしょに たべよう！」みんなは、にっこり うなずいてくれた。
 きんいろに ひかる、ちいさな うろこを たべたとき、
 ぼくたちの こころに、まるで まほうみたいに、ひみつの
 どうくつの ちずが うかんできたんだ！「わあ、
 ほんとうだ！ みえた！」 みんなで 大よろこび！



ぼくたちの まぶたの うらに、キラキラかがやく ひみつの
 どうくつが うかんできたんだ。

「さあ、みんな！あたらしい たびのはじまりだ！」
 ぼくは、おとうとや いもうと、いぬ、ねこ、ねずみと
 いっしょに、 あたらしい ぼうけんの たびに でかける
 ことにしたんだ。